

# Honda Dream Racing

## 2017 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第3戦 SUGO SUPERBIKE 120 miles ENDURANCE RACE

TOHO Racing レースレポート  
Honda Dream Racing  
JSB1000クラス #104 山口 辰也

---

5月13日(土曜日) 天候：雨 路面:ウエット  
公式予選／中止  
5月14日(日曜日) 天候：雨 路面:ウエット  
公式予選／6番手 決勝／DNF  
開催地:宮城県・スポーツランドSUGO  
入場者数:5,100人(土・日合計)

全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦が宮城県・スポーツランドSUGOで開催された。JSB1000クラスは、今回も120マイル、SUGOを52周するセミ耐久で争われた。TOHO Racingは、前戦の鈴鹿2&4レースに続き、株式会社ホンダモーターサイクルジャパン様のサポートの下「Honda Dream Racing」として参戦した。

鈴鹿2&4レースで課題となっていた部分を改善しSUGO入り。レースウィークは、今回も木曜日からスタート。初日は、晴れていながらも雨がパラつく、不安定な天候となったため、コンディションを見ながらマシンセットを進める。快晴となった金曜日は、気温も上がり、精力的にコースに出てタイムも縮めて行く。タイムは1本目に記録した1分28秒654がベストになり9番手につけていた。



公式予選が行われる予定だった土曜日は、予報通り朝から雨となり路面はウエット。JP250クラス、J-GP3クラスとスケジュール通り予選セッションが行われて行ったが、J-GP2クラスのセッションが始まるころには、霧がSUGOを覆い赤旗が提示される。その後も天候は回復せず、JSB1000クラスの公式予選は、日曜日の朝に行われることになった。

日曜日にも冷たい雨の降る1日となった。30分で行われた公式予選。ここでニュー CBR1000RR SP2、そして17インチのレインタイヤの組み合わせで初めて走るようになったが、メカニックが施したセットが的確だったこともあり、ライダーの山口は、最初からいいフィーリングで走ることができていた。

6番手グリッドからル・マン式スタートで長丁場のレースは始まった。ル・マン式スタートを得意としている山口は、一つポジションを上げ5番手で1コーナーをクリア。オープニングラップで1台にかわされ6番手でホームストレートに戻って来る。3周目に5番手に上がるが、4周目には再び6番手と序盤の混戦の中、まずまずのペースで周回を重ねて行く。このまま行けば、表彰台も見てくると思っていたのだが…。

8周目のSPインコーナーでリアタイヤが白線に乗ってしまいスライド。ハイサイドのような状態になってしまう。必死に立て直し、ブレーキングをするが、ランオフエリアが少なく、減速できないままクラッシュパッドに激突してしまう。幸いケガはなかったが、再スタートはできず、そのままリタイヤとなってしまった。



JSB1000 ライダー/監督 山口辰也コメント

「スタートもまずまず決まり、落ち着いて52周を走り切ることができれば表彰台に上がれると思っていたのですが、自分のミスで白線に乗ってしまいました。SUGOはセミ耐久になってから完走したのが昨年だけと相性が悪いですね。ニューマシンは、着実に進化していますので、次回のツインリンクもてぎ、オートポリス、そして鈴鹿8耐に向けて、もっともっといいマシンに仕上げて行きたいです。今回も多くのご声援をいただきありがとうございました。次回は結果で応えられるように精一杯努力します」

チーフメカニック 戸井田剛コメント

「新型でウエットコンディションを走るのが初めてでしたが、公式予選から、まずまずの手応えがありましたし、決勝でもリタイアするまでは、いいペースで走っていたので雨のデータを取ることができたのは収穫になりました。結果は残念でしたが、ライダーに大きなケガがなかったのは幸いです。気持ちを切り換えて、スプリントレースになる次戦もてぎ、そして鈴鹿8耐に向けてマシンの戦闘力を高めて行こうと思っています」

総監督 福間勇二コメント

「スポンサーの皆様、地元東広島の皆様に多大なるご支援、ご協力を頂いている中、リタイアという結果となり申し訳ございません。マシンが新型となり2戦目ですが、確実にセッティングは進んでおりますので、鈴鹿8耐に向けてさらに良いマシンになっていくと思います。そのために次戦もチーム一同頑張る参りますのでよろしくお願い申し上げます」



株式会社 TOHO  
Honda Dream Racing  
担当 野口